

01 教会ニュース

主の福音を地の果てにまで！

アメリカで開催された全世界のクリスチャン放送人の祭り「2016年NRB総会および博覧会」に参加した万民中央教会のGCN放送、宣教出張のニュース、支教会5,6月スケジュール

02 いのちのみことば

善意の実

善を選ばずにはいられない善意の心を持つ人からは濃いキリストの香りがする。

03 証し

変化といやし…そして幸せ！

神の力で喘息、大腿部頸部の骨折がいやされ、出血が止まるなど、聖霊のみわざを体験した聖徒たちの証し。

04 世界の中の万民

「主の力で新しくなりました」

イ・ジェロク牧師の著書を読んで生き方が変えられるという聖霊のみわざを体験したアメリカの聖徒と病気の苦しみから解放された世界の聖徒たちの証し。

万民ニュース

第162号 2016. 4. 24.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063
www.manmin.org

GCN放送「2016年NRB総会および博覧会」に参加

福音宣教のため世界有数のクリスチャン放送人と協力する



①NRB会長ジョンソン博士(中央)②カーリー首席副理事長(右)③GCNブース④前会長ライト博士(中央)⑤ニューヨーク17チャンネル代表トゥロムブリー博士(中央)⑥イ・ジェロク牧師の信仰書PR

アメリカのナッシュビル市ゲイロードにあるオープリーランドホテルのコンベンションセンターで、今年2月22日から26日まであった「2016年NRB総会および博覧会」に万民中央教会のGCN放送が参加した。

NRB(National Religious Broadcasters、世界キリスト教放送人協会)はクリスチャン放送人の権益を保護するために設立された団体で、アメリカを中心に全世界の1,400団体が所属している。今年は44か国175企業から4,700人余りが参加した中でクリスチャン放送人の協力を図り、放送技術を交換し、放送宣教のビジョンを分かち合った。

GCN放送(www.gcntv.org)はインターナショナルレセプションを始めに映画試写会、テレビ諮問委員会会議などに参加した。メディアリーダーシップ晩餐では、中東状況とIS(イスラム国)の影響、同性愛など、キリスト教マスコミと信仰への迫害に関して意見が交わされた。セミナーと会議では、各分野の専門家と大学の研究者によりデジタルメディア技術を用いた効果的な福音宣教の方法が提示された。映画試写と評価会では、聖書的な映画製作の重要性が再確認できた。特にアメリカ大統領予備選挙のスーパーテューズデーの一週間前に、NRB主催で開かれた大統領選候補フォーラムがCNNで生中継され、参加者の熱い関心と反応があった。

「天国」と「聖め」を象徴する青と白でデザインされたGCNのブースには、HDで製作されたイ・ジェロク牧師の説教番組と万民中央教会の創立33周年祝賀公演、海外連合大聖会を扱った「回想」と「信仰で歩んできた道」、「創造と科学」「WCDN」などの多様な番組を上映した。また、イ・ジェロク牧師の多国語著書と奇跡のムアンの甘い水(出エジプト15:26)を紹介して注目を浴びた。



GCNのブースにはNRB会長のジェリー・ジョンソン博士などが訪問し、再会を喜び合った。NRB前会長フランク・ライト博士は「GCN放送の多角的な活動、特にイスラエルに向けて放映されている番組は興味深いです。理事長イ・ジェロク博士に感謝しています」と語った。ジョン・カーリー首席副理事長は「NRBの三つの信条、聖書の正確性とメディアの優秀性、福音を伝えるためのマスコミの自由保護を満たしているGCN放送に出会えて、とても喜んでいました」と述べた。アンドレ・ビニョRB放送(ロシア放送ネットワーク)代表は「イ・ジェロク博士の説教番組を視聴して多くの人がいやされて、神の力あるわざを目撃できるので、とても幸せです」と語った。

また、GCN放送の出張チームはNRB前理事であり放送局代表のジョン・アンカーバーグ博士、ニューヨーク17チャンネルの代表トゥロムブリー博士、CNLのマクシモフ社長、IBNのワイズ博士、NRBのジッタ国際委員長など、世界のクリスチャン放送人と御霊に導かれて交わって放送協力を協議し、終わりの時、無数の魂を救う遠大なビジョンを再確認した。

5,6月支教会スケジュール

5月18日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 スンギル牧師)	5月29日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ピョンラン牧師)
5月22日(日)	松本万民教会	創立12周年記念礼拝(講師:伊藤正明牧師)	5月31日(火)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:イ・ヒソソ牧師)
5月29日(日)	名古屋万民教会	癒しの集会(講師:時國みや子牧師)	6月1日(水)	大阪万民教会	創立17周年記念礼拝(講師:イ・ヒソソ牧師)

善意の実



堂会長イ・ジェロク牧師

「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」
(ガラテヤ5:22~23)

美しい御霊の実は心にだけ結ばれているのではなく、必ず良い行いとして現れる。その中に善意の実が心に完全に結ばれるとキリストの香りが放たれるので、多くの人がイエス・キリストを感じて神をあがめるようになる。それでは、善意の実とは具体的に何だろうか？

1. 真理を基準として行おうとする心

世の人々は良心に基づいて「これは良い」あるいは「悪い」と見分けて評価する。自ら良心に引っかかることがないなら、自分なりに良い心の正しい人だと自負するのだ。だが、良心は人によって違う。良心が作られる過程がそれぞれ違うからだ。

良心とは「本性に土台に作られた善悪を判断する基準」である。人の本性はどんな気を受け継いで生まれるのか、また、どんな環境で育つのかなど

によって変わってくる。良い両親の気を受け継いで生まれた子は比較的本性が良い。また、良い環境で良いものをたくさん見て聞いて育った人は、良心が正しく作られやすい。反対に、悪い親の気を受け継いで、生まれてから悪いものによく接すれば、本性と良心が悪くなりがちである。

たとえば「正直」が大切だと教わった子は、ささいな嘘をついても良心の呵責を感じるが、いつも嘘をついて育った子は、習慣的に嘘をつきながらも平気なのだ。このように良心は人によって、地域と時代によってそれぞれ違う。自分では良心的だと思っている人も、結局は「自分の目に良いこと」を追い求める。

ところで、主にあつての聖徒は善悪と是非をわきまえる基準がいつも同じである。きのうもきょうも永遠に変わらない真理、すなわち、神のことばが基準だからだ。このような「真理」を基準として行おうとする心がまさに「善意」である。

2. 善を行わずにはいられない心

「善意」とは辞書では「よい心。他人のためによかれと思う心。」という意味だが、霊的には、御霊にあつて善を追い求める心、すなわち、真理にあつて善を追って行く心である。良い人は、良い倉から良い物を取り出すので、善を追い求める人からは自然に善がにじみ出る。どこへ行っても誰に会っても、良い言葉と良い行いで相手の徳を高めて愛を施す。香水をつけた人から良い香りがするよう

に、善意の心を持つ人からもキリストの香りがする。ところが、善を追い求める心ばかり切実だからといって、善意の実を結んだとは言えない。見て聞いて学んだら、それを必ず自分の心に耕して、実践しなければならぬ。

ルカの福音書1章には、良きサマリヤ人がどう善意を行ったのか記されている。ある人が、強盗に襲われて半殺しになってしまった。たまたま、祭司がひとり、彼を見たが、反対側を通り過ぎて行った。同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。祭司やレビ人は律法をよく知っていて、神に仕えると言っている人である。ところが、彼らはいざというときみこころを行べき瞬間に行いを見せなかった。

しかし、サマリヤ人は強盗に襲われた

人の傷にほつたいをし、宿屋に連れて行き、介抱してやった後、宿屋の主人に彼を介抱してあげてくださいとお願いする。もっと費用がかかったら、自分が帰りに払うと約束までして行った。善意の心があったので、死にかけている人に顔を背けることができなかったのだ。いくら物質や時間で損をするとしても、とても見捨てて行けなかったのである。そのまま通り過ぎたなら「けがをした人はどうなっただろうか」と心にいつまでも残っただろう。このように、善意とは善を選ばずにはいられない心である。

3. イエス様の善意の心

〈マタイ12:19〉に「争うこともなく、叫ぶこともせず、大路でその声を聞く者もない。」とある。よく「あの人は本当に優しい、いい人だ」と言われている人々を見れば、誰とも引かかたり、ぶつかりたりすることがない。「大路でその声を聞く者もない。」とあるように「そこにいることさえ知らなかった」と言われるほど、静かで争うこともないのである。相手のしみや過ちを明らかにしないし、自分を目立たせて高められようとすることもなく、筋に合わないことにあうからといって不平を言わない。

その次の20節には「彼はいたんだ葦を折ることもなく、くすぶる燈心を消すこともない、」とある。ふつう木や草花を育てるとき、いたんだ葉や枝があれば、きれいに切り落とすものである。また、燈心がくすぶる時は、その光も明るくなく、すすもひどくなる。だから、人々は最初から燈心を消してしまう。しかし、善意の心があれば、いたんだ葦も折ることがなく、くすぶる燈心も消すことがないというのだ。万が一でも回復の可能性があれば、どうしてもそのいのちを断ってしまえないので、何としてでもいのちの道を開いてあげようとする。

ここで「いたんだ葦」とは、霊的に「世の罪と悪でぎっしりになっている人」のことである。「くすぶる燈心」とは「心が悪でひどく染まっただけで、その魂の明かりが消えつつある人」のことだ。このような人は主を受け入れるのが難しい。神を信じると言っても、その行いを見れば世の人と変わらないし、むしろ聖霊に逆らって神に立ち向かいやすいのだ。

イエス様の時も、驚くべき力を見ながらも、相変わらずイエス様を信じないで

悪を行って、聖霊の働きに立ち向かう人が多かった。しかし、イエス様はこのような人も最後まで信じて期待し、救われる機会を開いてくださったのだ。

善意の実が結ばれている人は悪を行う人々を心に抱く。あえて正しい正しくないを問い詰めて、相手の過ちを明らかにしようとしたり、相手を負かしてやろうとしない。真実の心で良くしてあげて、彼らの心を溶かし、かえって感動を与える。

もちろん、相手があまりにも悪くて、自分のほうでいくら良くしてあげても、結局は死の道へと行くこともある。このような人でも、自分のほうから「ここまでは我慢しよう」と限界を定めて、その限度を超えれば顔を背けるのではない。最後まであきらめないで、いのちの道へと導こうとするのが善意の心である。何としてでも救われるように、続けて機会を与えるのだ。

それでは、真理にあつて善を追い求めて行く「善意」は、他の項目とどう区別できるだろうか？たとえば、サマリヤ人が「強盗に襲われた人を助けたのは施しと憐れみの心ではないのか」と疑問を持つこともある。

もちろん、施しと憐れみも、結局善に含まれる徳である。しかし「善意」でもっと強調される側面は、善を行おうとする心である。相手の困難をかわいそうに思っ

て助ける「憐れみ」に焦点を置くのではなく、当然憐れむべき状況でそのまま見過ごせない善の心が善意なのだ。もう一つたとえを挙げると、忠実に仕える時も、善意の実が結ばれているなら、どれか一つの分野だけでなく、全家を通じて忠実であるようになる。もし自分が果たすべき分野のうち一つでもおろそかにすれば、それによって苦しむ人がいるようになり、神の国が広げられないこともあるので、全家を通じて忠実であろうとするのだ。その他の項目も、このように適用すれば理解できるだろう。

愛する聖徒の皆さん、

善意の実を結べば主に似せられることができる。小さい子につまずきを与えたり、他人に迷惑をかけたたりしないし、外面でも善と謙遜の香を放つようになる。主の教育を身につけて、すべてにおいて尊敬され、歩き方や身のこなし、話し方の習慣などが完全になる。善意の実を完全に結んで神に栄光を帰されるよう、主の御名によって祝福して祈る。

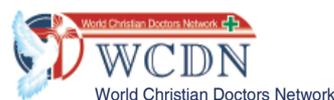


Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

変化といやし、幸せをもたらす

聖霊のみわざ

愛なる神は信仰によってより頼む子どもたちを喜ばれ、すべての人生の問題を解決してくださり、心配、憂いなく幸せに生きていけるように導かれる。聖霊の力でいやされて神に栄光を帰した聖徒たちの証しの一部を紹介する。



「信仰によって握手した後、喘息がいやされました」

チョン・ビョンヒョプ執事(47歳、マサン万民聖潔教会)



ただの風邪だとばかり思っていたのですが、ある時から症状がひどくなって、呼吸困難になりました。息をするとき変な音がしたり、眠ってから2~3回目が覚めたらまた寝つけない、悪循環の繰り返しでした。ある日は夜中に呼吸困難になって、窓を開いておいて息を試みよう、ありったけの力を振り絞ったりもしました。

2014年10月、病院で診てもらった結果、原因不明の喘息でした。私は各種の礼拝とダニエル徹夜祈禱会に

◀ 主にあって忠実で健康で仲睦まじい家族 (左からチョン・ビョンヒョプ執事、息子セヒョン、ヨンジェ兄弟、妻イム・ヒョジョン執事)

参加して、切に神様の恵みを求めました。みことばに照らしてみると、今まで生きてきながら本当に悪い姿が多かったことを悟って、悔い改め始めました。

2015年2月の初め、夢で私が堂会長イ・ジェロク牧師先生をつかんで、私の病名を申し上げてひざまずいたら、先生が私のために切に祈ってくださいました。その後、私は堂会長先生と会えるとき、手の平に病名を書いて信仰によって握手しました。

その後は喘息の症状が全く現れなかったのです。病院で診てもらった結果、喘息がいやされたという驚くべき事実が確認できました。ハレルヤ!

「時間と空間を超えた祈りで折れた骨が急速につきました」

イ・ハンウォン勸士(56歳、2大大15教区)

2015年11月7日(土)、急いで歩いていて床で滑ったのですが、とうてい起き上がれませんでした。かろうじて助けてもらって立ち上がりましたが、痛みがとてもしどかったです。救急車で病院に行き、レントゲン写真を撮ってもらうと、右の大腿部頸骨(股関節の下の骨)が折れていました。

お医者さんは直ちに手術して骨を固定しなければならない、最大限安静にすべきだから、1か月以上はじっと横になっていなければならないと言いました。その夜は痛みでほとんど眠れませんでした。寝返りも打てないし、動くこともできなかつたし、トイレに行く時も家族の助けを借りなければなりません。

翌日の主日、祈りの家におられた堂会長イ・ジェロク牧師先生に手紙で祈りをお願いしましたが、ある



瞬間、痛みが徐々になくなっていくのが感じられました。その夜ぐっすり眠れたし、月曜日には痛みがほとんどなくなって、ぞうきんモップをつかんでひとりでトイレに行けたのです。

その翌日は何もつかまないで立たし、その後急速に回復して、普通に動けました。後で病院に行ってレントゲン撮影してもらうと、折れた部分の骨膜が癒合したのが確認できました。驚くべき力でいやして下さった三位一体の神様に感謝と栄光をお帰しします



「クルミ大の筋腫がなくなりました」

キム・ミスク勸士(44歳、1大大1教区)

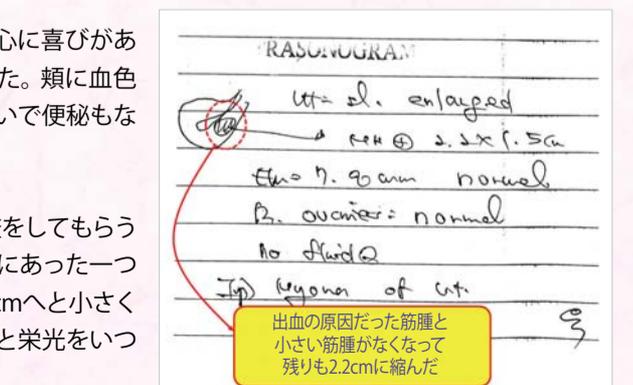
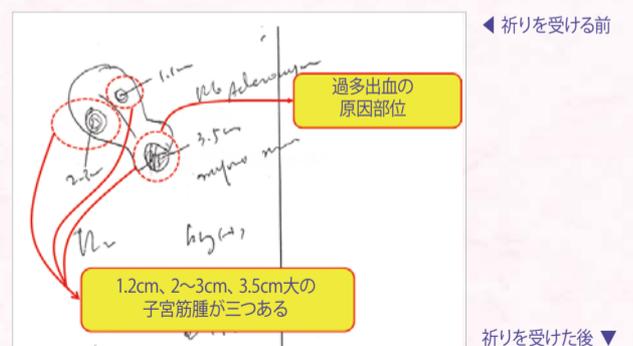


2015年初め頃、それまで全くなかった生理痛がひどくなって、腸がねじれるように痛みました。冷や汗を流して倒れたり、8月からは生理過多で普段から出血しているから、顔は黄色くなったし、力がなくて階段を上がるのが大変でした。息切れがして、ひどい貧血と便秘があったし、髪もずっと抜けました。

指導教師イ・ヒソン牧師先生にハンカチの祈り(使徒19:11~12)を受けた後、排便と出血が一回ありました。二日後にもう一回あると、真っ黒なかたまりが出て行ったのが確認できました。その時から出血が止まって、生理が正常に戻りました。

その後、万民祈禱院のいやしの集会に参加して、完全にいやされるために備え、2月7日、堂会長イ・ジェロク牧師先生と聖徒が会う時に全体の祈りを受けて、信仰によって握手した後、心に喜びがあふれて、いやされたという確信が湧いてきました。頬に血色が戻ってきて体が正常に回復し、息切れもしないで便秘もなくなりました。ハレルヤ!

2月18日、病院に行って再び子宮の超音波検査をしてもらうと、出血の原因だった子宮の下側の筋腫と内側にあった一つが完全になくなって、残りの一つは3cmから2.2cmへと小さくなっているのが確認できました。すべての感謝と栄光をいつくしみ深い三位一体の神様にささげます。



2016年1月4日、子宮の超音波検査をしてもらったら、お医者さんは「筋腫が三つあります。内側にある二つは別に問題ないですが、子宮の下側のはクルミ大で子宮を圧迫していて、これが出血の原因です。最悪の場合は子宮を取らなければなりません」と言って、大きい病院に行くようにと紹介状を書いてくれました。

私は自分の信仰を顧みて、働き人として使命を果たしているとはいえ、自尊心と高ぶりなどの悪い心となまぬるかった信仰生活を悔い改めました。1月15日、女性宣教会の総

「『霊・たましい・肉』を読んで、私の生き方が変わりました！」

リワード・シバンダ聖徒



2015年NRB博覧会でイ・ジェロク牧師の著書『霊・たましい・肉』をもらった協力企業体の社員シバンダ聖徒は読後大いに感銘して数百人の聖徒と恵みを分かち合ったと、今年もGCN放送ブースを訪問して感謝を伝えた(GCN放送イ・ジェファン局長とシバンダ聖徒)

去年イ・ジェロク先生の著書を読んで受けた印象は、本当に驚くほど生き方を変えさせるということです。神様の深いみこころを悟って、それを誰にでもわかりやすく説明できる人はそんなにたくさんいません。

私は霊的な多くの説教を聞いてみましたが、概念が曖昧で、理解しにくかったのです。ところが、イ・ジェロク先生は霊とたましいと肉についての概念を、他の文化の人も簡単に理解できるようにこの本で詳しく説明してくださいました。私も人がどう構成されたのか、正確に理解できました。



▲イ・ジェロク牧師の著書『霊・たましい・肉(上)』と『霊・たましい・肉(下)』は各13、6か国語に翻訳され、全世界に流通されている。

この本を読んだ後、私に驚くべきことが起きました。初めて聖書のみことばが私の心に生きて働くみわざを体験したのです。祈りが一次元突き抜けられたし、どう祈るべきかを悟るようになりました。また、神のことばがたましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通すというみことばなどが理解できて、日常の中で適用できました。この本は私の生き方を変えさせ、読む人はみな生き方の変化を体験しています。イ・ジェロク先生に心より感謝しています。

「毎晩息が止まって死にそうな苦しみから抜け出しました」

1999年から息切れがし始めました。病院に行き検査をしてみましたが、何の異常もありませんでした。でも、夜中に寝ていて息が苦しくなって目が覚めることがとても多かったのです。まるで誰かが私の口を手でふさいでいるようで、息が止まって死にそうだったし、一夜の間にも数回ひどく動悸がするから、まるで心臓が口の外に出て来そうでした。

毎晩こんな死の苦しみがやって来るのが怖かったです。それで病院で心臓と肺の検査をして、精神科でも診てもらいましたが、何の異常もありませんでした。ラマ教とシャーマニズムの力を借りてみましたが、何の効果もありませんでした。さらに数年間、毎晩呼吸困難で手に余る時間を送ったからなのか、階段を上がり下りしたり、早く歩こうとすると、呼吸が苦しかったです。

チェンドゥスレン聖徒(35歳、モンゴル万民教会)

2015年10月、病院検査の結果、心臓が正常に動いていないと言われました。不整脈による発作性呼吸困難でした。それで11月、モンゴル万民教会の長期欠席者だった私は、教会に行き主日礼拝をささげました。その後パッチョリク担任宣教師が神の力の込められたハンカチの祈り(使徒19:11~12)をしてくださいましたが、そのハンカチはソウルにある万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りを受けたものと言いました。

祈りを受けた瞬間、私の体から良くないものが抜けて行くようだったし、すぐ心が安らかになって気分が良くなり、きよくなったような気がしました。その後今まで何の異常もなく元気です。私は毎朝ぐっすり眠って起きる平凡な日常がただ驚きで感謝ばかりです。階段を上がり下りして、走り回っても何でもないから不思議です。ハレルヤ!



「慢性マラリアがいやされました」



2006年からひどい高熱に苦しめられましたが、病院検査の結果、慢性マラリアとわかりました。左わき腹が痛くて歩けなかったし、仰向けになれなくて、横向きに寝なければなりません。また頭痛がしてまともに食べられなかったのですが、脾腫(脾臓の肥大)によるものでした。薬も服用して病院治療も受けましたが、特によくなりませんでした。

その年2月、キンシャサ勝利の道1997で「イ・ジェロク牧師招へいコンゴ連合大聖会」が開かれました。父が世界的なリバイバリスト、イ・ジェロク牧師先生の祈りを受けていやされたいと願って一緒に参加しましたが、いやしの祈りを受けた後、脾腫が完全になくなったのです。

ところが、2010年に入って高熱がひどくなって、毎年6、7月にな

ヘリティエ・コロンジ・カバセレ聖徒(32歳、コンゴ・キンシャサ万民教会)

れば突然発作で倒れて、救急車に載せられて病院に行くことが常でした。ついに2011年には職場にも行けなくなったのです。

2015年1月、友だちの紹介でキンシャサ万民教会に登録した私は、2か月後、教会創立行事を準備するようになりました。私の体調では自信がなかったのですが、神様に喜ばれれば答えてくださると言われて参加しました。そのうち各種の礼拝に参加して、映像で堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを切なる心で受けることができました。

その後、どんな体の異常も現れなかったし、元気になりました。ほとんどの日をひどい頭痛と全身に汗をかきながら力なく横になって送っていましたが、元気になって思う存分賛美できるので幸せです。ハレルヤ!

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会

〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会

〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472